

# 秋田県理学療法士会ニュース



第176号  
2017年5月15日発行

発行：公益社団法人 秋田県理学療法士会  
会長：菅原 慶勇 編集：加賀屋勇気 印刷：株式会社秋田情報プリント  
事務局：〒010-0921 秋田市大町1丁目2-40  
TEL・FAX 018-867-1804 E-mail akitapt-home@ptakita.org  
ホームページ <http://www.ptakita.org>

## 第1回専門領域研究班 開催 運動器・呼吸理学療法研究会 開始



僕らの職場紹介します  
研究に恋して 照井佳乃  
事務局報告  
理事会議事録  
部長便り&会長の動き  
マイブーム 嶋田誠司

5

2017

May

Jun.

6

## 専門領域研究班

# 運動器・呼吸理学療法研究会活動開始

前号にて皆様にご報告したとおり、今年度より、研修部に専門領域研究班が新設されました。その活動の口火を切って運動器理学療法研究会、呼吸理学療法研究会が4月に開催されました。それぞれの活動の様子、これからの活動について、両研究会の会長よりご報告いただきました。

## 運動器理学療法研究会

会長 渡邊 基起

### コンセンサスの得られた治療方針を確立していきたい

4月22日に秋田大学医学部附属病院にて、第1回運動器理学療法研究会が開催されました。当研究会は、羽後病院の齋藤功氏や城東整形外科の渡部裕之氏、秋田大学の畠山和利氏の知恵を拝借しながら、秋田大学の渡邊基起がまとめ役として運営しております。今回の内容は趣旨説明と症例検討3例で、初回であったにも関わらず29名の参加者が集まりました。

#### 一趣旨説明一

研究会では、臨床的思考過程を底上げすることで個々のレベルを高めていくことを目標にしています。意見の正誤にとらわれず、自分の考えを発言することがレベルアップにつながると思います。そのため聴講するだけではなく、症例検討を活動の軸にグループディスカッションを行います。そして最終的にはコンセンサスの得られた治療方針を確立していきたいと考えています。また、研究分野への取り組みを積極的に支援していくことも活動の一つとなります。難しい研究も良いのですが、普段接している

症例一人一人を大事にして、最終的に症例報告を行うことも研究の一つですのでチャレンジしてみたいかがですか？

#### 一症例検討一

初回のため、運営側から2例と参加者から1例の3例が提示されました。1例目は齋藤功氏から人工股関節全置換術後の脚長差に関するアプローチ方法の検討がなされ、2例目は渡部裕之氏から上腕骨顆上骨折を保存的に可動域獲得させ得た症例の報告がなされた。どちらも解剖学や運動学など機能的な視点から治療に結びつけることが非常に重要であると再認識できる、教育的講演の様な内容でした。3例目はあきた病院の渡邊志保氏から（栄えある本当の1例目です）、転倒による脛骨骨折に対してリング型創外固定術を行った患者に対する治療方針の検討がなされました。参加者全員がグループディスカッションを通して意見を出しあい、現時点で考えられる治療方針を決定出来たと思います。



## 呼吸理学療法研究会(4/27開催)

会長 川越 厚良

### 地域に根差した呼吸ケアの発展を目指して

今年度より専門領域研究班の事業が立ち上がり、会員の皆様のご協力のもと、呼吸班の第1回の研修会を開催することができました。本研修会のプログラムとして、まず国立病院機構あきた病院の菊地和人先生より第52回日本理学療法学会に発表予定の演題をご発表頂きました。呼吸筋麻痺により能動的に痰の喀出ができない患者さんに対して、機械的介助に加え、徒手な咳嗽介助の有用性が示され、臨床にも応用可能な知識を教えてくださいました。後半は、私から市立秋田総合病院で取り組んでいる呼吸リハビリについての紹介を中心に、呼吸リハにおける最近のトレンドを文献の紹介も交えて発表させていただきました。私自身、自分の取り組みについて見直す機会となり、他病院の先生からご意見を頂ける貴重な機会となりました。

会の最後には、参加していただいた先生方より、活発な意見交換をしていただき、中でも維持期・在宅ケアサービスにおける呼吸リハビリの提供が困難な現状が聞かれました。本研修会におけるアンケート調査結果でも維持期のリハビリに従事されている先生方のご参加が最も多く、継続的な支援を必要と

する呼吸器疾患患者において、わが県では病院の外来受診のみでなく、地域に根差した在宅や施設における呼吸リハビリの提供が更に必要である印象を受けました。今回の研修会を通じて、病院という枠で収まらず、秋田県全体の枠で意見交換ができる場になれることが実感できました。当研究会では単なる研修会という枠に収まらず、県内の皆さんの声に合わせて幅広い活動の展開を目指しています。今後も、様々な形の会を開くことで、県内の皆様と情報交換ができる場を設定し、現状の把握から患者さんの笑顔につながる活動を展開していきたいと思えます。ご興味・ご質問のある方は奮って当研究会のEメールアドレス (akita.respi.pt@gmail.com) にご連絡ください。一緒に秋田県の呼吸分野を発展させていきましょう。



老年期理学療法研究会 (akita.geriatric.pt@gmail.com) は 6 月 2 日 (金)  
循環器理学療法研究会は (akita.circ.pt@gmail.com) 6 月 3 日 (土)  
を予定しています。ご参加希望の方は上記アドレスにご連絡ください！



# ぼくらの職場 紹介します!!

## -Introduction of our team-

いつも転院申し送りしているけど、知っているようで知らないあの病院、あのリハ科… どんな理学療法士がどんなことしてるの?? そんな疑問に答えるべく、自分たちの病院・チームを紹介していくコーナーです!



ジェイコー

### 第11回は「JCHO秋田病院」です!

それではJCHO秋田病院のみなさん! ご紹介お願いします!

—はい! 三嶋利駆が当院について紹介させていただきます!

#### <私たちが働く病院は…>

平成26年、4月から独立行政法人地域医療機能推進機構として新たなスタートを切りました。

北には白神山地と米代川、西には日本海に沈む夕陽、東には奥羽山系、南には秋田の米どころとすばらしい環境に囲まれた能代市に設置されています。地域に密着した医療を目指し、予防から治療・ケア・在宅医療などの他、職員のスキルアップにも努め、地域の皆さんから信頼の高い病院です。

#### <リハビリ対象疾患は…>

主に外傷・変性疾患、脊柱疾患などの術後急性期の整形外科疾患、脳血管疾患、がん、廃用症候群等を対象としています。

#### <理学療法士の人数は…>

現在、JCHO秋田病院には7名(他OT1名)

附属老人保健施設には2名(他OT3名)が所属しています。

#### <私たちの病院のここが“ウリ”です!>

##### ① 地域包括ケア病床

平成27年度より、地域包括ケア病床(約12床)を設立し、リハビリや退院支援など、効率的かつ密度の高い医療を提供できるようになりました。

##### ② スポーツ外傷・障害のリハビリ

毎週月曜日(15:30~17:00)にスポーツ外来を設けています。

投球障害にはストレッチ・自主トレ指導を行い、ACL損傷ではサイベックス評価などで長期的な経過を追っています。特に多い足関節捻挫では腓骨筋トレーニングの他に二次的障害予防のため体幹トレーニング・ストレッチの指導を行っています。

##### ③ 訪問リハビリテーション

平成6年度から主に能代山本地区全域に訪問リハビリテーションを提供しています。病院や施設を退院した患者の在宅生活のサポートを行っています。



(病院紹介者: 三嶋利駆)

# 研究に恋して



## 今月の Scientist PT

照井佳乃(秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座)

いつか自分の研究の一端が患者さん達のADLやQOL向上の一助になって欲しい

今まで、私は回復期病棟に入院している脳卒中患者さんのリハビリを担当させていただく機会が多くありました。脳卒中の患者さんと接することで、患者さんの歩行に寄せる強い気持ちを感じていました。それは、病前のように歩きたいという切実な思いでした。病気になって初めて感じる切なる願いです。そこで、私は歩容の改善について研究したいと思いました。加速度計を使用して、簡便に歩容の左右対称性を評価することができる指標があることを知り、脳卒中患者さんを対象に研究を始めました。

方法としては、3軸加速度計を腰部に装着して10m歩行したときの加速度の変化を評価しました。上下の加速度と左右の加速度の散布図(リサーチ図形)を作成し、リサーチ図形を左右に分け、左右の大きさを比較するリサーチインデックス(Lissajous Index; 以下、LI)を算出しました。LIは体幹運動の左右対称性を評価します。まずは、LIに検者内信頼性と絶対的信頼性が認められることを確認しました。さらに、横断的な検討で脳卒中片麻痺患者のリサーチインデックスと立位バランスの指標であるBerg Balance Scaleに関連があることを明らかにしました。今後はLIの経時的変化について引き続き検討したいと考えています。リサーチ図形とLIを用いることで視覚的かつ客観的に体幹運動の左右対称性を評価できるため、患者さんへのフィードバックにも使用しやすいと考えています。

私が行ってきた研究では、実際の入院患者さんを対象としてきました。患者さんに時間と労力を割いていただいても、その患者さんの治療に直接役立つ訳ではありません。それでも、患者さんは「やってもいいですよ。」と言ってくくださる方が多く、ありがたいと思うと同時に、「自分は患者さん達に迷惑をかけている」という思いもありました。複雑な気持ちをいだきながらも、研究を続けた理由には、加速度計を使用して簡便に歩容の左右対称性を評価することがいつの日にか、患者さん達の役に立つのではないかという気持ちがあったからです。

今後もずっと「自分の研究がリハビリの役に立てるのか」、「自分のやっていることは患者さんに負担をかけているだけではないか」といった思いは続くと思います。苦しい思いもしながら「いつか自分の研究の一端が患者さん達のADLやQOL向上の一助になって欲しい」そんなかすかな期待を込めて研究を続けています。

Bland-Altman 分析の結果 (脳卒中片麻痺患者)

		誤差の有無
95%信頼区間	-4.77~3.11 (0を含む)	加算誤差なし
実測値から求めたt値	0.739 (< 2.015)	比例誤差なし

LIとBBSの相関関係

	相関関係	p値
BBS	-0.413	0.011

### -PROFILE-



照井佳乃 先生  
秋田大学医学部保健学科学理学療法学専攻を卒業。平成29年3月まで秋田県立リハビリテーション・精神医療センターに勤務。平成29年4月から秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻理学療法学講座に勤務。  
日本理学療法学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会に所属。

# 事務局報告

(平成29年4月15日)

1. 会員動向  
正会員数572名、名誉会員数2名、休会者数39名  
賛助会員数8社
2. 公文書発行数 14件
3. ニュース、機関誌、印刷物等の受領  
日本理学療法士協会資料等4件  
他士会ニュース・広報誌13件  
他士会印刷物16件  
他団体印刷物10件

## 平成28年度第6回理事会議事録要約

1. 招集年月日 平成29年1月26日(水)
1. 開催場所 秋田大学医学部保健学科 日常生活活動実習室
1. 開催日時 平成29年2月22日(水) 18:00~20:00
1. 総理事数 12名
1. :出席者 本人出席  
理事 12名(菅原、須藤、畠山、渡部、松橋、田安、若狭、初山、大場、柏木、ジョーンズ、井上)  
監事 2名(倉田、鈴木)  
議長 菅原慶勇  
議事録作成理事 渡部裕之  
書記 三浦、白瀬(総務班)

### 【審議事項】

1. 平成29年度事業計画案ならびに予算案の修正等について(提案理事:須藤)  
前回理事会にて、修正が求められた部・班について、修正内容が資料に沿って説明された。審議の結果、平成29年度事業計画案ならびに予算案は全会一致で承認された。
2. 学会開催時期変更について(提案理事:畠山)  
初山理事より、新人教育プログラムの扱いはどうするか質問がなされ、畠山理事より、学会を土曜日、その後に定時総会、新人歓迎会を行うことで、参加者の増加と、既会員と新入会員の交流が持てること、翌日の日曜日に新人教育プログラムの開催をすることで、まとまった成果が得られるのではないかとの考えが示された。審議の結果、全会一致で承認された。また、変更年度は、平成29年度の年度末の学会を行わずに、平成30年度6月に行うことで移行していくことが合わせて承認された。
3. 秋田士会HP変更について(提案理事:初山)  
初山理事から説明がなされた。
4. 災害医療派遣検討委員会分掌規程について(提案理事:大場)  
大場理事より災害医療派遣検討委員会の分掌について提案があり、審議の結果、全会一致で承認された。
5. 倫理規程の承認を求める件(提案理事:大場)  
大場理事から倫理規程について修正案が資料にそって示された。審議の結果、全会一致で承認された。この倫理規程は平成29年2月22日より施行することとなった。
6. 資金調達及び設備投資の見込みについて(提案理事:須藤)  
須藤理事から、資料に沿って説明がなされた。

審議の結果、全会一致で承認された。

7. 理学療法週間事業のイベント用品作成の承認について（提案理事：田安）

価格、用途などを考慮した上で色やロゴマーク等のデザインは公開事業班長へ一任することで、全会一致で承認された。

**【協会・ブロック・リハ専門職協議会からの審議報告事項】**

1. 第6回JIMTEF災害医療研修アドバンスコース参加報告（報告理事：大場）

大場理事より成田研氏が参加した第6回JIMTEF災害医療研修アドバンスコースに関して資料に沿って報告があった。

2. 第2回協会指定管理者（初級）研修開催報告（報告理事：初山）

初山理事より第2回協会指定管理者（初級）研修について報告がなされた。

**【業務執行報告】**

各局・部（班）報告

A. 事務局長

須藤事務局長より、秋田県の事務所立入検査に

関しては特段な問題はなかったことが報告された。

1) 総務部（総務、庶務）

渡部理事より、庶務報告の中で、会員権利停止の会員は、現在はいないことが報告された。

B. 事業局長

畠山事業局長より、平成29年度秋田県計画に係る事業の提案募集に2件の研修会を事業申請した旨が報告された。

1) 事業部

田安理事より、ねんりんピックの予算と会場割り振りが決定したことが報告された。

D. その他

1. 平成29年度第1回理事会

日時：平成29年4月26日（水）18：00

（三役会議 17：30）

会場：秋田大学医学部保健学科日常生活活動実習室（B棟3F）

2. 平成29年度第2回理事会

日時：平成29年5月17日（水）18：00

（三役会議 17：30）

会場：秋田大学医学部保健学科日常生活活動実習室（B棟3F）

## 平成29年度 地域包括ケア推進研修会 開催のお知らせ

この度、下記の日程で「地域包括ケア時代の地域リハビリテーションを考える」をテーマに、地域包括ケア推進研修会を開催いたします。

日 時：平成29年6月24日（土） 14：30～16：30（14：00～受付開始）

会 場：秋田大学医学部附属病院2階多目的室

テ マ：「地域包括ケア時代の地域リハビリテーションを考える」

プログラム：14：00～ 受付開始

14：30～15：30 講演1「地域包括ケア時代のリハビリテーション」

一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会相談役 伊藤隆夫先生

15：30～16：30 講演2「地域リハビリテーションあれこれ」

（元）秋田県理学療法士会会長 伊藤日出男先生

参 加 費：1,000円

※理学療法士の方々は、研修会当日に会員証をご持参ください

# 北部ブロック活動部 研修会のお知らせ

テ ー マ：「肩関節疾患の理学療法」  
講 師：千葉 慎一 昭和大学病院  
期 日：7月29（土）、30日（日）  
受け付け：7月29日 12：30～  
開 始 7月29日 13：00  
場 所：北秋田市民病院 中会議室  
（北秋田市上杉字清水沢16-29）  
内 容：講義および実技  
対 象：秋田県理学療法士会員 その他  
参 加 費：会員：5000円 非会員：10000円

## 備 考

- ①日本理学療法士協会会員証をお持ちの方は、当日受け付けにて使用しますので必ず持参下さい。
- ②当日は実技もありますので、動きやすい服装でお越しください。
- ③新人プログラム、専門・認定理学療法士（運動器）分野の履修ポイントの対象となります。
- ④準備の都合上、締切は7月14日（金）までとさせていただきます。
- ⑤1日目の研修会終了後、大館市内にて講師を囲んで懇親会を予定しています。奮ってのご参加をお待ちしています。詳細は決まり次第連絡致します。

## お問い合わせ・申込み先

（所属先や会員番号など必要事項を記入し、メールにてお申し込み下さい）  
大館市立総合病院リハビリテーション科 柏木智一  
アドレス：reha@odate-hp.odate.akita.jp

## 研 修 部

### ●研修部（生涯学習班）

平成29年度新人教育プログラムについて

#### ① 今年度の新人教育プログラム年間予定

	第1回（6/10）	第2回（8/5）	第3回（10/28）	第4回（12/2）	第5回（1/20）
北部	—	A-3 「リスクマネジメント」 B-2 「クリニカルリーズニング」 D-2 「生涯学習と理学療法の 専門領域」	A-4 「人間関係および接遇」 B-4 「症例報告・発表の仕方」 D-3 「理学療法の研究方法論」	—	—
中央	A-1 「理学療法と倫理」 A-2 「協会組織と生涯学習システム」 A-5 「理学療法における関連法規」 B-1 「一次救命処置と基本処置」	—	—	A-3 「リスクマネジメント」 B-2 「クリニカルリーズニング」 D-2 「生涯学習と理学療法の 専門領域」	A-4 「人間関係および接遇」 B-4 「症例報告・発表の仕方」 D-3 「理学療法の研究方法論」

※第1回は全ブロック合同で中央開催ですのでご注意ください。

二回目以降は、開催場所が北部と中央になります。どのブロック会場に参加しても構いません。今後追加で開催場所、時間、講師のご案内を差し上げます。

テーマ群C以外の履修必要単位がとれます。





# マイブーム

北秋田市民病院  
嶋田 誠司 先生

北秋田市民病院の嶋田誠司です。前回のマイブームに何を書いたか忘れてしまったおじさんに、小原さんが「次のマイブーム、よろしくお願いま〜す(^)/」って…。モデルになってくれた小原さんのお願いとあれば断れないよ…。

## 「カレーせん」

コンビニで見かけると必ず買う。いろんなメーカーがありますが、ボクはか〇だが好き。食べやすい一口サイズなど大きさは色々ありますが、どれもLOVE。ただついつい食べ過ぎて、指が真っ黄色になり、胸焼けすることも多い。みんなも気をつけて。

## 「ミルクコーヒー」

最近車中でミルクコーヒーを飲むことが多くなりました。長距離通勤の疲れた体に微妙な甘さが染みるんです。ただ去年の健診でHbA1c値がやや高めと出てからは控えめに…。みんな気をつけて。

## 「FB」

湯沢遠征時に後輩から勧められて始めました。単身赴任で外食が多かったから、県南地区の食べログになった。“友達”の現況を見て楽しむことが多いですが、敬愛する先輩の投稿には突っ込みを入れていじることも忘れない。

## 「NBA」

20年前新築した時にBSをつけたら、現役時代のマイケル・ジョーダンとCHICAGO BULLSのファンになりました。でも何も知らないから、マイケル・ジョーダン(神様)、マジック・ジョンソン(神様のライバル)、マイケル・ジョンソン(陸上界の神様)の区別が分からず苦労しました。某工業高校の選手のリハビリをしながら、知ったかぶりして好きな選手やプレイについて熱く語ったことも良い思い出です。現在は昔ほどの熱さは失せましたが、BULLSの試合は必ず観ます。ただ調子に乗って娘のバスケに口を出すと、「素人が口挟まないで!」とにらまれる。ごもつともである。



## 「モスグリーン」

数年前にネットでボクのラッキーカラーが「モスグリーン」と出てから、身に着けるものにこだわり始めましたが、今年ネットで調べたら「山吹色」と…。48にもなって黄色かよ…身に着けるかどうか迷っているこの頃。

## 「朝の占い」

某局の「今日の占いカウントダウン」は必ず見ます。当たることが多いから。魚座が「ゴメンなさい」と言われると、1日おとなしくしています。「いい年したおじさんが占いに振り回されて…」と娘は冷ややかだが、ホントに当たるんだから。

## 「〇TAR WAR〇」

生まれて初めて映画館で観たのがこの映画だったことがきっかけで、全シリーズを必ず映画館で観ることにこだわってきました。当然DVDも買います。これまでグッズには決して手を出しませんでした。不覚にも今回は〇ース・〇イダーのポップヘッドを買ってしまった。リビングのTVの脇に誇らしげに置いてあるが、家族の視線は冷ややか。たまに暇な娘が指でツンと突つくと、「おいおい、触るんじゃねーぞ!」と心の中でそっつつぶやく。

## 「ボールペン」

職場で使うボールペンは、タダでもらえるメーカーさんのは使わず、必ず自腹で買います。特に3色+シャープペン&0.5mmがお気に入り。元上司のY先輩に勧められた「消せるボールペン」は自宅用に。「こんな高いの買わなくても、安いのでいーじゃん」と言う娘の声には決して耳を貸さない。

今回は高校・短大の後輩、男鹿みなと市民病院の花田“ダンディ”定晴先生にお願いします。

## ニュース編集班より

ニュース編集班班長の加賀屋です。今号のニュースはいかがだったでしょうか？ニュースへのご意見・ご指導など下記連絡先までお寄せいただくと幸いです。

次回ニュースの原稿締め切りは6月26日（月）です。載せたいニュース、写真などありましたら、ニュース編集班までお寄せください。

「マイブーム」を依頼された男鹿みなと市民病院の花田定晴先生も、この期日までにご自身の写真つきの原稿を送付して下さるようお願いいたします。(1,000~1,500字程度)

連絡・送付先：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

問い合わせ先：秋田県立脳血管研究センター 機能訓練部 加賀屋勇氣

Tel：018-833-0115 Fax：018-833-2104 E-mail：kagaya-yuki@akita-hos.or.jp

学校法人 コア学園

### 秋田リハビリテーション学院

厚生労働大臣指定・秋田県知事認可校



平成27年4月開校  
秋田県初!  
理学療法士養成専門学校  
理学療法学科  
4年課程  
40名定員



〒010-0065 秋田市茨島一丁目4-80  
TEL 018-865-0188 FAX 018-864-6137 URL <http://www.core-akita.ac.jp/arc/>

●応援します! 医療と福祉を確かな技術で

### 有限会社 共栄メディカル

●総合医療機器 ●理化学器械 ●福祉用具レンタル ●介護用品 ●厨房設備機械 ●業務用洗濯機械

〒014-0102 秋田県大仙市四ッ屋字水木田33

〒010-0964 秋田市八橋巖沼1-35 サニーハイツ102

TEL 0187-66-2123 (代)

FAX 0187-66-2139

☎ 0120-971-294

信頼の医療機器

### 株式会社 秋田医科器械店

代表取締役 佐藤 俊介

本社 〒010-1423 秋田市仁井田字中谷地30-2  
Tel.018-839-3551(代) Fax.018-839-3546  
本荘営業所 〒013-0064 横手市赤坂字大道向2-4  
Tel.0182-32-8311(代) Fax.0182-32-8313  
能代営業所 〒016-0014 能代市落合字上釜谷地189番  
Tel.0185-52-0024(代) Fax.0185-54-7319

生体現象測定装置・FES（機能的電気刺激）  
リハビリテーション機器 販売

### 有限会社 バイオテック

代表取締役 飯塚 清美

〒010-0041 秋田市広面字碓80-1

TEL 018-837-0161

FAX 018-837-0162

高度管理医療機器販売業 第04-000026号

### 有限会社 秋田ブレース

義肢 装具 コルセット 車椅子各種杖

〒019-2621

秋田県秋田市河辺諺井字野田96-5

TEL / FAX 018-882-2116

TEIJIN

患者さんの  
Quality of Lifeの向上が  
テイジンの理念です。



帝人ファーマ株式会社 帝人在宅医療株式会社

〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号

PAD(XX)NAC(TB)1201

(社)日本義肢協会  
登録・東北119号

厚生労働省指定工場

義肢・装具・コルセット・車椅子・各種杖

# 株式会社 佐々木義肢製作所

代表取締役 佐々木 和憲

本社 〒980-0801 仙台市青葉区木町通二丁目3-3(木町通小学校前)  
TEL (022) 274-1181(代) FAX (022) 274-1183  
支店 〒010-0973 秋田市八橋本町二丁目7-1  
TEL (018) 862-7204(代) FAX (018) 862-9347  
〒036-8227 弘前市大字桔梗野二丁目16-12  
TEL (0172) 33-1150(代) FAX (0172) 33-1153

厚生労働省指定工場

社団法人日本義肢協会登録・東北101号

# (株)千秋義肢製作所

代表取締役 佐々木 雅伸

義手・義足・装具・車椅子・リハビリ用品

秋田市新屋豊町1-22  
TEL 018-823-3380 FAX 018-862-5126